

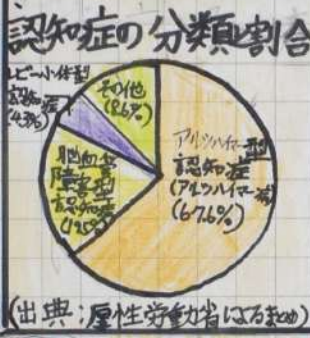
アルツハイマー病新聞

アルツハイマー病とは？

アルツハイマー病は身近な病気！

認知症の症状の分類

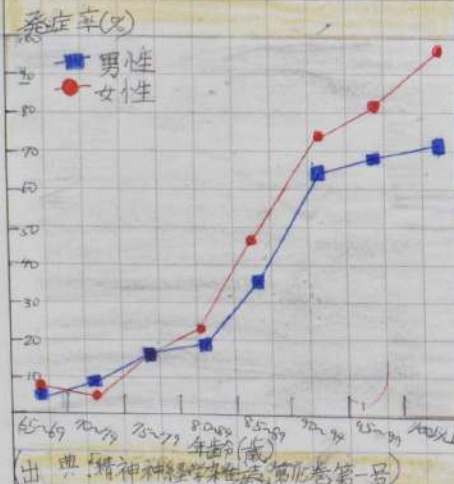
認知症の症状は、脳の機能障害によるもので、記憶力、判断力、計算力、読解力、言語力、視空間能力、実行機能などが低下し、日常生活に支障をきたす状態を指します。



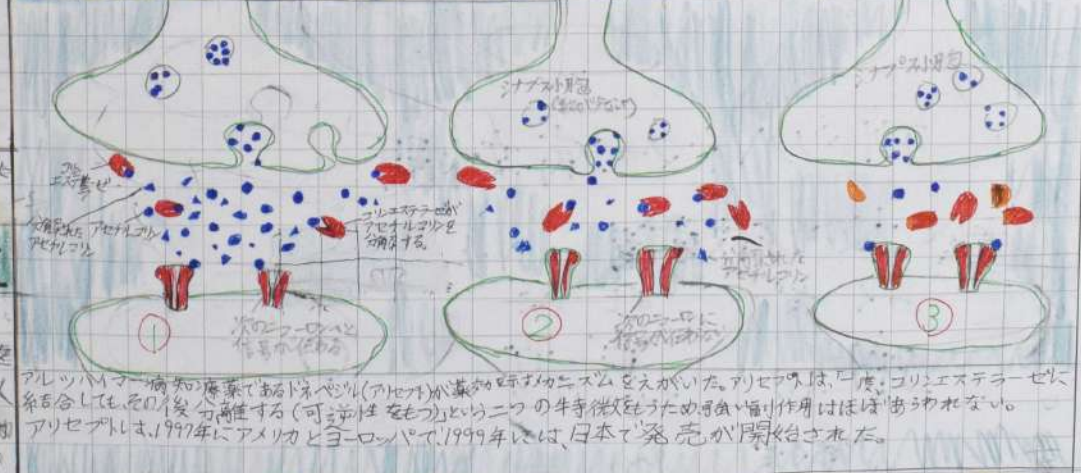
20年ほど前から、認知症の患者数は急激に増加しています。これは、高齢化の進展と、生活習慣病の増加によるものです。認知症は、脳の神経細胞が死滅し、脳の機能が低下することで起こります。早期発見と適切な治療が重要です。



認知症の発症率



アルツハイマー病の治療



私たちのできること

毎日元気な生活を送ることは、認知症の予防に効果的です。定期的な運動、バランスの取れた食事、十分な睡眠、そして社会的交流を続けることが重要です。また、認知症の兆候を早期に発見し、適切な治療を受けることも大切です。

1. 健康者のシナプス: シナプス伝達に「アセチルコリン」が関与している。アセチルコリンは、神経細胞から放出され、神経細胞間の情報伝達に重要な役割を果たしている。
2. アルツハイマー病患者のシナプス: アルツハイマー病では、アセチルコリンの量が減少し、シナプス伝達に障害が生じる。これにより、認知機能が低下する。
3. ドネペジルを用いた治療のシナプス: ドネペジルは、アセチルコリンの分解を抑制し、シナプス間のアセチルコリン濃度を上げ、情報伝達効率を上昇させる。

才教学園
4年1組
奥田嘉彦